

2019.3.31(日) Start 15:00

アンビエントお茶会

Guests

INDGMSK

thaithefish

seaketa

La Reprise

自由料金制 Name Your Price

Hosted by Masamichi Furukawa

① お茶会トーク

INDGMSKのちょっと豊かになるモノ・コト 本麒麟・ボンビーガール・アンビエント

本麒麟が好きです。本麒麟とはKIRINから2018年リリースされ、既存の発泡酒のうす味、シャバシャバという概念を180° 転回させてしまったアンセム中のアンセム。今もテーブルの上に9個あります。毎夜毎夜飲み続け去年は多分200本くらい飲んだ印象ある。大変お安くお得です。アルコール度数も6%でお得です。

ボンビーガールが好きです。テレビで部屋を探す番組で大変面白く視聴しています。隔週くらいで世界仰天ニュースが放送されることがあり、がっかりします。でも、そもそも夜10時からの放送時間に対し平均帰宅時間が10時半なのであんまり観るときないです。

アンビエントがまあまあ好きです。自分はlightmellowbuという90年代前後の和モノシティポップを紹介する集団に参加し活動しています。自分はブックオフに行って280円や500円のCDを探すのですが、その際にヒーリング・イーजीリスニング等のコーナーも必ずチェックしており、その際にジャケ買いなどをして少しずつ聴いています。それらもやはり90年代頃の国産のアンビエントです。誰にも顧みられなかったという意味ではシティポップもアンビエントも共通の哀愁があります。去年などはVaporwave→シティポップ、ニューエイジの流れを踏襲しつつ新たな切り口での語りを生み出した俗流アンビエントという言葉も生まれました。そういうわけでみんなアンビエントにハマっています。

Love&Piece。アンビエントって時間が長いからあまり働かなくても良いお金持ちの有閑貴族しか聴けないように思っていますが、働いてて時間が無いし、あまりお金持たなくて嫌だなあと思っている人も1分とかちょっとだけでも聴いたら良いと思いますよ。癒しの効果があります。お金は貯まりませんが。また癒しだけでなく、プラス思考になったり、ダイエット効果があったりとアンビエントには様々な実用性があります。人生が豊かになります。

どうぞみなさんボンビーガールを観ながらアンビエントを聴いて本麒麟を飲んで楽しい暮らしを。以上INDGMSKのちょっと豊かになるモノ・コトでした。元氣出していきましょう、エーザイ。

lightmellowbu

Water Song - 木下伸司 ...アルバム『SPA』(2006)より

80年代中盤にFantiという 트렌ディ・アーバン・シンセポップユニットで活動し、90年前後からはゲーム音楽等への参入、そしてその後商業アンビエント作家に転身した彼のアンビエント界限では名作とされる水系アンビエントはまさにスパの如し聴き心地。サウナとアンビエントの相性ってかなり良いですよ。サウナでアンビエントイベントがあれば行ってみたいものです。

The Water Garden - kojun ...アルバム『The Water Garden』(1995)より

沖縄出身のテクノ作家による水系アンビエント。終末後、人間の居なくなった世界を思わせるような、静謐な庭園。そこを流れる水の音に小鳥の鳴き声が交錯、その中を嫺やかなシンセが通り抜ける、テクノ・アンビエント快作。ジャケ買い必至です。

① お茶会トーク

thaithefishのちょっと豊かになるモノ・コト
果たしてこの世に不要なものはあるのか、

という問いを投げかけたいのですがメルカリの話をします。メルカリって出品者にとって不要なもの、断捨離だったり故人の思い出の品からだったり(勿論、転売等もありますが)、出品欄を見ているとその人の生活感や人となりを覗き込むことができて、レコード店とは違う趣があって好きなんです。僕はもっぱら安いCDを見つけ「いいね！」をして購入しているのですが、先日Dellaというレーベルの「プラス思考」というアルバムを購入したら赤いスマートフォンが届いてしまい面倒ながらも面白いと思ってしまいました。自分にとってスマホなんて全く必要ないし、逆に赤いスマートフォンを買ったつもりがプラス思考なんて怪しげなCDが届いた人がいるのですから。その時に改めて、不要の裏には必要も潜んでいると思いました。響野夏子というアーティストのQui Qui(1989)という作品には“UN BEAU PHYSIQUE”という曲があり、本人の解説によれば「聴く側のコンディションによって楽しくもなり、暗くもなれる両極を持ったバイサウンド」が収められているのですが、アンビエントだけでなく音楽には潜在的にそういった両極性や表裏一体が含まれている気がします。自分にとって心地良い・必要なモノは勿論、居心地の悪い・不要なモノを尊重し、目を向けて見ることが豊かな暮らしに繋がっていくような気がしませんか。スマホは返送しましたが、僕のプラス思考は「回収不能」との事で届きませんでした。

telepath & Agia - The Light Of Our Love

テレパス能力者時代に築き上げられた引き延ばしの恍惚をオリジナルに昇華したアルバムのタイトル作。シンセフレーズが神がかった1曲です。

Knopha - 三 San

上海のレーベルから今年リリースされた1枚からです。「ハウスの人が作るアンビエントは蕎麦屋が作るカツ丼」と先日つぶやいたりしたのですが、この方も例に漏れず素晴らしいです。

① お茶会トーク

seaketaのちょっと豊かになるモノ・コト Vlog(Video Blog)

私は映像からチルやアンビエントの要素を感じる動画が好きで時折見ています。その中でも最近良いなと思うのが落ち着いた暮らしを撮影しているVlog(Video Blog)です。世間で流行っている方と言うとinlivingさんの様な方の映像です。

ここからは私がVlogについて思ったことをつらつら書いていく文章になります。適当に読んでいただければと思います。

삐삐sueddu

この方は暮らしが丁寧で光の加減も綺麗で正に映像のアンビエントという感じがします。この人に限らずですが、Vlogで時折入る環境音が私は好きです。

KYURIN규린

先程の方が理想的な丁寧な暮らしだとするならばこちらはお洒落な大学生の暮らしという感じです。お友達とご飯を食べに行くなど、これぞVlogみたいな映像ですが何処と無くお洒落で少し落ち着いている感じが好きです。

机紹介(My desk tour) - Long dis

そんなVlog界隈をみているとLofi hiphopをBGMとして使っているのをちらほら見かけました。おそらくお洒落でチルなBGMを探した時に自然とここにたどり着いたのではないかと思います。 **日本の女子高生のVlog** にも 先程のKYURINさんに至っては映像にもその要素があります。

VLOG 집순이는 집에서✕ 2019 다이어리 표지 꾸미기・찰리푸스 콘서트・아침 만들어 먹기・마샬 헤드폰 언박싱 | KYURIN 규린

個人的な結びつけですが、音楽にもチル、アンビエントのブームが来た様に、**この記事** にもある通り、日常生活においても落ち着いた暮らしというのがブームなのではないかと思います。こんまりさん、日本だとinlivingさんが同時期に注目されたのももしかしたら偶然ではないのかもしれません。

以上で私のVlogについての雑記を終わります。これを読んで少しでも楽しんでいただけたら幸いです。

Sawako - Incense of Voice

私は12kというレーベルからリリースされているアンビエントに好きなものが多いです。

12k

Miki Yui - koko

こちらは12kのサブレーベル、LINEからのリリースです。私は12k主宰のTaylor Deupreeのライブを観た時に初めてアンビエントの良さが分かった気がしました。

LINE . Sound Art Editions

